

4 学校評価の概要

令和元年度昆布小学校評価報告書 保護者回収率 7月 87% 12月 90%

4：十分達成されている（十分に取組み成果が現れている）
 3：ほぼ達成されている（取組みが進み、成果が出始めている）
 2：あまり達成されていない（十分取組めていない）
 1：まったく達成されていない（まだ手つかずの段階）

自己評価項目		R1.7	R1.12	保護者アンケート評価項目		R1.7	R1.12	改善の方向	
番号	内容			番号					
「確かな学力」の育成	1	一人一人のよさを生かし、基礎学力を高める指導と評価の工夫を行っている。（一人一人に寄り添った丁寧な指導、定着のための指導、朝学習や補習の取組 等）	2.8	2.8	1	学校では、授業内容の充実による一人一人のよさを生かし、個別指導やグループ学習など基礎学力を高める指導を図る取組を進めてきましたが、ご家庭からみていかがでしたか。	3.2	3.1	・校内研修において「主体的で対話的な深い学び」の実現に向けた研修を深め、授業改善を図っていく。
	2	「見通し」と「振り返り」を定着させ、ゴールを明確にした授業づくりの推進を図っている。（課題の設定、学習過程の定着、自己肯定感につながる振り返り 等）	2.7	3.0					
	3	主体的で対話的な深い学びの視点による授業改善を図っている。（学習意欲・学ぶ力の育成、話し合いの仕方やノートの指導、個から集団への思考の流れ 等）	2.3	2.7					
	4	新しい学習評価の理解と評価の改善を図っている。（評価基準の作成と評価基準の明確化、単元テストの活用による指導と評価の一体的な取組 等）	2.5	2.3					
	5	校内研修課題の明確化と共通理解の深化を図り、日常の実践に生きる授業研修等の計画的な研修活動を推進している。（積極的な校内研究への参画、授業を通しての提案、理論研修のための資料提供 等）	2.3	1.8					
	6	地域人材の積極的な活用や関係機関との連携を明確にした総合的な学習の指導計画作成、指導の改善充実を図っている。（総合的な学習の時間の内容の充実と指導計画の見直し等）	2.2	2.5	2	学校では、探求的に地域を学ぶため地域人材を積極的に活用した、総合的な学習の指導の改善を図る取組を進めてきましたが、ご家庭からみていかがでしたか。	3.2	3.3	
	7	外国語になれ親しみ、コミュニケーション能力の育成する指導・活動の展開を図っている。（低学年外国語活動の実施、外国語活動及び外国語科の目標に即した指導 等）	2.8	2.7	3	学校では、低中学年の外国語活動や高学年の外国語科の実施など、外国語になれ親しみ、コミュニケーション能力の育成を図る取組を進めてきましたが、ご家庭からみていかがでしたか。	3.2	3.1	
	8	プログラミング教育を取り入れた教科指導の実施及び校内研修の推進を図っている。（PC活用向上のための指導、プログラミング的思考の形成を意図した教科指導の実施 等）	1.8	2					
	9	支援を必要とする児童への学習指導を充実させ、学習支援員の適切な配置により、学力保障を図っている。（個に応じた指導の実施、習熟度別学習の取組 等）	3	2.7					
	10	家庭学習の習慣化と学習機会や時間の確保（長期休業中、朝・放課後等）を図っている。（家庭学習への全校的な取組、長期休業中の学習指導の充実、朝・放課後の補習 等）	2.3	3	10	学校では「家庭学習の手引き」にもとづき、家庭学習の習慣化を図るための取組を進めてきましたが、ご家庭ではいかがでしたか。	3.1	3	
	11	人の話をしっかり聞き、自分の考えを説明するための指導の充実を図っている。		2.3					
「豊かな心と健やかな体」の育成	12	人間的なふれ合いを深め、自立と自律を促す基本的な生活習慣の指導を図っている。（一人一人に寄り添った対応、心を開く指導、家庭との連携 他）		3.0	11	学校では、早寝早起きなど基本的な生活習慣の定着を図るための取組を進めてきましたが、ご家庭ではいかがでしたか。	3.4	3.0	・道徳の授業交流及び研修を深める。 ・児童会活動や集会活動では活動の進め方や企画、立案などで児童の主体的な活動を重視し進めていく。 ・新体力テストの結果分析をもとに取組の重点化と具体化を図っていく。（体育専科と連携）
	13	いじめや問題行動の未然防止、早期発見、早期対応の徹底を図っている。（いじめ防止マニュアルの理解とそれに基づく子どもの見取り、意識的な情報収集 早期対応 等）	3.2	3.0	4	学校では、学級活動や縦割り班活動など集団の一員として仲間と協調して行動し、いじめアンケートの実施などいじめの未然防止を図る取組を進めてきましたが、ご家庭からみていかがでしたか。	3.5	3.5	
	14	道徳教育の充実及び道徳的価値に向き合い多面的・多角的に問いを返させる指導・評価の工夫を図っている。（教科書や多様な資料等の活用、考えを深める道徳の授業、日常的な価値指導 等）	3.2	2.8	5	学校では、授業公開など道徳科の授業の改善及び道徳教育の充実を図る取組を進めてきましたが、ご家庭からみていかがでしたか。	3.2	3.1	
	15	子どもの発想を生かし、主体的な活動を重視した児童会活動・集会活動の工夫を図っている。（活動の進め方、話し合いの仕方の指導、企画・立案への支援 等）	2.5	2.2					
	16	一人一人の目標設定のもと、成長や変容が実感できる学校行事の充実・改善を図っている。（参加意欲の高揚、共感し合う・認め合う・つながり合うことを大切に指導 等）	2.8	2.6	6	学校では、運動会など子ども一人一人の成長や変容が実感できる学校行事の充実・改善を図る取組を進めてきましたが、ご家庭からみていかがでしたか。	3.5	3.5	

	17	一人一人の健康の保持・増進を図る健康教育の推進を図っている。(身体測定、食に関する教育、性教育、薬物乱用防止教育等の実施 等)	2.7	2.8	7	学校では、体育科教員の活用、新体力テストの実施・結果の活用及び健康の保持・増進・体力づくりの意識化を図る取組を進めてきましたが、進んで運動するようになってきましたか。	3.2	3.3	
	18	子どもの危機意識を向上させる防災・安全教育の充実を図っている。(交通安全指導、防災教育、学校安全教育の実施と充実のための計画の見直し 等)	2.7	2.6					
	19	新体力テスト等の結果活用及び健康の保持増進・体力づくりの意識化を図っている。(体育専科教員の活用による体育授業の充実、体力テストの結果に基づく体育指導の充実、遊びの奨励 等)	2.8	2.6					
	20	教育目標、経営・指導の重点の共通理解とわかりやすい適切な情報発信・学校公開等による教育活動の可視化を図っている。(経営方針の具体化と学級経営や教科指導への意識的な取組)	2.9	2.5	8	学校では、わかりやすく・見やすい情報発信、学校公開等による教育活動の可視化を図る取組を進めてきましたが、ご家庭からみていかがでしたか。	3.1	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標→重点目標→学級経営方針・目標→児童の目標(つながりを意識し、目標の具現化を図っていく。) ・各取組のPDCAのサイクル化をすすめる。 ・教頭、教務を核とした連絡体制の強化を図っていく。 ・保育所との連携を図っていく。(一緒に遊んだり給食をとるなどの活動の推進)
	21	A(目標)P(計画)D(実践)C(評価)A(改善)のサイクルを重視した教育活動の充実・改善を図っている。(カリキュラムマネジメントによる学校全体の教育活動の改善)・充実の取組 等)	2.7	2.5					
信頼される学校	22	「報・連・相・確」の徹底による協働体制を構築し、業務内容の見直しを進め時間外勤務の削減を図っている。(関心力と関与生を高めた協働意識の高まり、信頼感、効率化による時間外削減 等)	2.6	1.8					
	23	保育所・町内各小学校・中学校との交流活動・連携の充実を図っている。(小中一貫した学習習慣確立の指導、きめ細かな情報交流、課題と取組の共有化 等)	2.7	2.3					
	24	参観日や家庭訪問等、素早い連絡や親身な対応、丁寧な説明による保護者との相互理解に努めている。(スピード感と温かみのある対応、やわらかな学校発出の文書 等)	3.4	3.3	9	学校では、参観日や家庭訪問等における素早い連絡や丁寧な説明を図る取組を進めてきましたが、ご家庭からみていかがでしたか。	3.2	3.3	
	25	保護者や地域から信頼が得られるよう、服務規律の保持に努めている。(交通ルールをはじめとした法令遵守、体罰・セクハラ等の根絶、信頼される勤務態度及び服装 等)	3.3	3.3					

令和元年度 蘭越町立蘭越小学校 学校評価

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ◇ つくり出す子 (かしこ) ◇ 助け合う子 (やさしく) ◇ たくましい子 (たくましく) 	経営の重点	①学習内容の基礎・基本の完全定着を目指す取組 ②自尊感情・自己有用感を醸成する教育活動の充実 ③ふるさとの自然・社会・人とのつながりを重視した教育活動	評価方法	○保護者アンケート(設問数12)と、教職員アンケート(設問数12)をリンクさせて実施。 ※8月に第1回目の評価を行い、その集計結果を基に改善を図り、12月に再度改善を図るための最終的な評価を行う。 ○保護者アンケートと教職員アンケートの集計結果・考察をもとにした、学校関係者評価を行う。	評価基準	5～よい 4～おおむねよい 2～もうすこし 1～要努力 (基準点……3.0)	学校関係者評価委員会 令和2年 2月26日		蘭越町立蘭越小学校
								評価委員		
								住吉 邦幸	福原 明美	校長 山崎 貴志
								若林 由美子	宮谷内 倫哉	教頭 中川 融

重点目標	具体的な実践項目	評価項目	保護者アンケート	自己評価(1回目～8月 2回目～12月)				学校関係者評価委員会		
				教1 職回 員目	保1 護回 者目	分析・考察	改善策		教2 職回 員目	保2 護回 者目
学習内容の基礎・基本の完全定着を目指す取組	<学習状況> ○「学びの約束」(学習規律)を作成し、月別重点項目を設け、系統性のある指導を行う。 ○学習の手引きの活用、積極的な予習の奨励等児童が進んで学習に臨む工夫を行う。 ○すべての教科において、表現活動を重視した授業の工夫を行う。	蘭越小学校の学習規律を設定し、月別重点項目の取組を進めてきたことで、児童の学習に向かう準備や姿勢、授業中の約束事などがしっかりと身につけている。	子どもたちの学習に向かう準備や姿勢、授業中の約束事などがしっかりと身につけていると思いますか。	3.6	4.2	・学習規律の取組については、月別重点項目を設けたことで、学級担任、児童も集中して取り組むことができ、定着につながっている。	・学級や指導する教師によって違いがあり、子どもたちが戸惑うことのないよう、意識を高めながら取組を進めていく。	3.6	4.1	○評価は妥当である。 (「了解」が得られた)
	<学び方> ○しりべし授業づくりの8つの視点を取り入れ、「見通し(課題)」「自力解決」「小集団・全体での交流」「まとめ・定着を図る場面」「学習の振り返り」のバランスがとれた授業づくりを算教科以外でも行っていく。 ○児童が主体的に楽しく学習活動に参加できる授業の工夫。 ○すべての教科において「書く活動」を重視した取組や授業の工夫を行う。	全ての教科において授業の中に学習の見通しを持たせる「課題」やその時間に学習したことの確かめ「まとめ」、そして「振り返り」の場面及び「書く活動」を設けていくことで児童に「学び方」の基礎が定着してきている。	蘭越小学校では、複数の先生が教室に入り、学習に取り組む子どもたちを支援しておりますが、子どもたちにとって分かりやすい授業になっていると思いますか。	3.9	4.2	・これからの子どもたちに求められている学習の姿を目指し、どの学級でも意識して取り組んでいる。	・学校として学力向上の各取組のねらいをはっきりさせ、効果的に生かすことができるよう検討していく。	4.4	4.4	
	<家庭生活> ○家庭学習の手引きを全体懇談で説明、各学級で配布、家庭学習の習慣化を図る。 ○学力学習状況調査のデータや道教委のデータと本校のデータの提示等で家庭への啓蒙を図る。	家庭学習の手引き(あり方)によって家庭学習(目標数値: 学年×10分、100%の実施)が定着してきている。	お子様は、家庭学習の習慣が身につけていると思いますか。	3.7	3.9	・家庭学習の習慣化については、各学級での取組の成果が表れ、少しずつ定着してきている。	・子どもたちへのさらなる意識づけを図るとともに、家庭学習の内容・時間についても、他の学級や家庭との関係を深めていく。	4.1	3.9	
	<定着> ○TT指導と習熟度別指導を効果的に取り入れた授業、時数配当。 ○単元末に「単元テスト」「到達確認問題」を行い、未定着児童を把握し放課後等で補習を行う。 ○学校体制としての補充学習の実施(長期休業中) ○学習困難児への個別指導の実施	担任外教諭や学習支援員によるTT指導や習熟度別指導及び宿題、家庭学習など日常的な補充学習は、学習内容の基礎・基本の定着につながっている。	蘭越小学校では、複数の先生が教室に入り、学習に取り組む子どもたちを支援しておりますが、子どもたちにとって分かりやすい授業になっていると思いますか。	4.7	4.5	・担任外教諭や学習支援員によるサポートが、子どもたちの基礎・基本の定着につながっている。	・担任外教諭や学習支援員の効果的な活用(過剰な支援や子どもの自立を妨げないようにする)について、あらためて全校で確認を行っていく。	4.5	4.5	
自己有用感を高める教育活動	○一人一人の居場所がある学級経営(自己肯定感・自己有用感をもたせる学級づくり)	今年度の蘭越小学校では、児童一人一人が学級への所属感(自己有用感・自己肯定感)や連帯感を持ち、活動が楽しいと感じる学級づくりがなされている。(児童によるいじめ実態調査の取組)	蘭越小学校では、学習や生活を通して学級への所属感や仲間意識が育つよう働きかけておりますが、十分だと思いますか。	3.6	4.3	・子どもたち一人一人を、どのような場面で生かしていくかを考えながら工夫した取組が進められ、自己有用感・自己肯定感が高まった。	・今後もさまざまな取組を進めていながら、学級あるいは学校全体の集団としての力を高めていく。	3.9	4.1	○評価は妥当である。 (「了解」が得られた)
		子どもたちは他の子どもとのかかわりの中で、人のよさに気づいたり自分の関わりによさに気づくことができている。	子どもたちは他の子どもとのかかわりの中で、人のよさに気づいたり自分の関わりによさに気づくことができていると思いますか。	3.6	3.9	・人のよさに気づくこと、さらには自分のよさに気づかせることが十分ではなかった。	・明確なねらいをもって、どのような場面で、どういう人、どのようにかかわりをもたせるのかを考えていく。	3.5	4.0	
地域との関わりを教育活動に活かす	○総合的な学習の時間～地域と連携した学習 ・子どもたちの問題意識・探求心・課題発見力を高める 4年生「尻川博士に…開発局との協力、蘭越高校との連携」 5年生「プロジェクト米」地域の米農家に協力依頼、	今年度の蘭越小学校では、保護者や地域と連携し、体験的な学習や共感的な学習を行うように努めている。(校外学習や、外部講師を招いての授業など)	蘭越小学校では、積極的に校外学習などの体験的な活動や、地域の方々を講師に招いての授業を行っておりますが、十分だと思いますか。	4.4	4.4	・蘭越の地域人材・物的資源を有効に活用しながら、教育活動を進めることができた。	・新たな取組を進めていながら、地域を十分に活用した教育活動を進めていく。	4.8	4.4	○評価は妥当である。 (「了解」が得られた)
	○花一会との連携(ブックトーク・出前授業・講演会)	今年度の蘭越小学校では、道徳科を中心として、生命を尊重する心や他を思いやる心が育っている。(道徳の授業の充実)	蘭越小学校の子どもたちは、動植物などの命を大切に、友達を思いやる心を育てよう取り組んでおりますが、十分だと思いますか。	3.7	4.1	・「道徳的価値を自分の事として理解し、多面的・多角的に深く考えたり、議論したりする」道徳教育への転換が必要である。	・授業改善や教材の工夫、評価の方法などに取り組みながら、学校の教育活動全体の中で、道徳性を養っていく。	3.4	4.1	
	○昆布小学校・蘭越中学校との連携 ・9年間で蘭越の子どもを育てる観点での連携強化 ・昆布小学校との合同学習	今年度の蘭越小学校では、基本的な生活習慣、集団生活でのルールやマナーの指導がされ、定着してきている。(道徳や学級活動の時間、日常の学級経営・生徒指導)	蘭越小学校の子どもたちは、あいさつや返事などの基本的な関わりや、集団行動でのルールやマナーがよくできていると思いますか。	3.5	3.9	・指導をされたときにはできていても、それがすぐに繰り返されるなど、定着しているところまではいっていない。	・具体的な場面に即して考えさせたり、周りの状況を見ながら自分がとるべき行動を判断させていく。	3.1	3.9	
その他(学校教育全般)	○「蘭越小学校 いじめ防止基本方針」を作成し、教職員・保護者に提示し、いじめを許さない空気を醸成する。	今年度の蘭越小学校は活気があり、明るく生き生きとした雰囲気である。(挨拶を通して自他を大切にしようという人間関係の構築)	子どもは学校が好きで、楽しく登下校することができていると思いますか。	4.3	4.5	・明るく素直な子どもが多いが、挨拶に関して言うと、自発的で明るい挨拶ができていない子は少ない。	・指導を続けていくとともに、教師自身も明るい心のこもった挨拶の手本を見せていく。	3.9	4.4	○評価は妥当である。 (「了解」が得られた)
	○年2回の「いじめ調査アンケート」と教育相談の実施	今年度の蘭越小学校では、教職員が児童に対して温かく共感的な態度で接する事ができている。	蘭越小学校は、保護者の意見等を参考に学校運営を行い、積極的に学校改善を進めていると思いますか。	4.6	4.5	・学級担任だけでなく、担任外の先生や支援員も含めて、日常的に子どもたちに対して温かく共感的な態度で接していた。	・これからも、ふれあいを続けていくとともに、子どもたちへの目配り・気配り・心配りをしっかりと行っていく。	4.4	4.4	
	○全校児童を対象に新体力テストの実施と、結果の経年変化分析。	今年度の蘭越小学校では、全校で体力テストを行い、その結果をもとにして体力作りの取組を改善し、継続的に取り組んでいる。(新体力テスト・なわとび活動・体育の授業での体力づくり運動)	蘭越小学校は、体力向上を目指しておりますが、十分だと思いますか。(なわとび活動・体育の授業での体力づくり運動)	4.4	4.1	・体育の授業内容の工夫や朝の会・帰りの会の取組、児童会体育委員会によるなわとび活動など、さまざまな取組を行うことができた。	・新体力テストの結果を踏まえ、苦手な部分をさらに伸ばしていくための全体的な取組を進めていく。	4.4	4.1	
	○年2回の「保護者アンケート」と、参観日後の全体懇談の実施。		蘭越小学校は、保護者の意見等を参考に学校運営を行い、積極的に学校改善を進めていると思いますか。	4.3	4.3	・保護者の意見等を参考にしながら、学校運営を進めることができた。	・行事アンケートや学校評価保護者アンケート等の意見を真摯に受け止め、これからの学校改善に生かしていく。	4.3	4.3	
			蘭越小学校は、学校だより等により、日常の学校運営の状況がわかりやすく保護者や地域に提供されていると思いますか。	4.4	4.4	・子どもたちのようすや学校・学級の取組状況がわかるような、学校だより・学級通信を発行して情報を発信することができた。	・今後も、学校・学級での取組の様子を、保護者や地域の方にわかりやすく発信していく。	4.6	4.6	

重点目標	具体的な実践項目	今年度の課題と次年度に向けての改善策	評価委員からの意見
学習内容の基礎・基本の完全定着を目指す取組	1 <学習状況> ○「学びの約束」(学習規律)を作成し、月別重点項目を設け、系統性のある指導を行う。 ○学習の手引きの活用、積極的な予習の奨励等児童が進んで学習に臨む工夫を行う。 ○すべての教科において、表現活動を重視した授業の工夫を行う。	<p>◎学習規律について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学的に定着させていくことはもちろんであるが、学習規律の項目について各学年の実態に応じたものとなるよう検討・改善していく。また、月別重点項目についても、項目や取組方法を見直していく。 <p>◎個に応じた指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度の学校体制の中で、子どもたちの実態に応じて、新たな配置を検討していく。 <p>◎家庭学習の定着に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度も普段の放課後学習や家庭学習(宿題)も含めて担任だけでなく、学校全体の取組となるようにしていく。 ・学校として毎日の家庭学習を出していく取組についての計画を立て、学力向上に対する保護者への意識付けを図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校は、読むことに対する訓練の時期であり、より語彙を増やしていくことが必要。 ・家庭学習も課題ではあるが、ゲームやユーチューブを夜遅くまでやっていて、朝起きられずに朝食も食べてこない子もいるので、家庭との連携を図りながら改善してほしい。
	2 <学び方> ○しりべし授業づくりの6つの視点を取り入れ、「見通し(課題)」「自力解決」「小集団・全体での交流」「まとめ・定着を図る場面」「学習の振り返り」のバランスがとれた授業づくりを全ての教科で行っていく。 ○児童が主体的に楽しく学習活動に参加できる授業の工夫。 ○すべての教科において「書く活動」を重視した取組や授業の工夫を行う。		
	3 <家庭生活> ○家庭学習の手引きを全体懇談で説明、各学級で配布、家庭学習の習慣化を図る。 ○学力学習状況調査のデータや道教委のデータと本校のデータの提示等で家庭への啓蒙を図る。		
	4 <定着> ○TT指導と習熟度別指導を効果的に取り入れた授業、時数配当。 ○単元末に「単元テスト」「到達確認問題」を行い、未定着児童を把握し放課後等で補習を行う。 ○学校体制としての補充学習の実施(長期休業中) ○学習困難児への個別指導の実施		
自己有用感を高める教育活動	5 6 ○一人一人の居場所がある学級経営(自己肯定感・自己有用感を高める学級づくり)	<p>◎道徳教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者や教員同士で道徳科の授業を公開しながら、「考え議論する道徳」の実現に向けた授業改善を進めていく。また、道徳科の授業を中心として、他教科や学校行事等の中でも、命の大切さや他を思いやる心を育て、実践力を伸ばしていく。 	
	7 ○総合的な学習の時間～地域と連携した学習 ・子どもたちの問題意識・探求心・課題発見力を高める 4年生＝尻別川博士に・・・開発局との協力、蘭越高校との連携 5年生「プロジェクト米」地域の米農家に協力依頼、 8 ○花一会との連携(ブックトーク・出前授業・講演会) ○昆布小学校・蘭越中学校との連携 ・9年間で蘭越の子どもを育てる観点での連携強化 ・昆布小学校との合同学習 9		<p>◎体験学習について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蘭越小学校の体験学習の計画を年度当初に保護者に伝えるときに、これまで以上に活動内容の充実を図っていく。 <p>◎地域の人材活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も生活科、社会科、理科、総合的な学習の時間の計画に沿って、地域の施設や人材の有効な活用を整理しながら、町教委(生涯学習)と連携して行っていく。
(学校教育全般)	10 ○「蘭越小学校 いじめ防止基本方針」を作成し、教職員・保護者に提示し、いじめを許さない空気を醸成する。	<p>◎挨拶について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうい挨拶がいい挨拶なのかを具体的に児童に指導し、実践し、褒めながら挨拶の習慣化に努めていきたい。また、保護者にも人となりのつながりを大切にするために挨拶は大切であることを伝えて協力を求めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶については、よくなってきていると思われる。さらにマナーや言葉遣いについても、学校と家庭が連携を取り合いながら指導してほしい。
	11 ○年2回の「いじめ調査アンケート」と教育相談の実施		
	12 ○全校児童を対象に新体力テストの実施と、結果の経年変化分析。	<p>◎体力向上について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの学年の課題やそれを克服するための取組、学校全体での体力づくりの取組を、学級通信や学校便り等で保護者にしっかり伝えていく。また、学校だけでなく徒歩で登下校など家庭でもできる体力づくりの方法等を紹介し、理解と協力を得ていく。また、次年度新たに配置される「体育専科教員」を効果的に活用していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力向上に関わって、町の行事にもたくさんの子どもに参加してもらいたい。学校生活の中で身体を動かせる時間は限られているが、体を動かすことが楽しいと思える取組をお願いしたい。
	13 14 ○年2回の「保護者アンケート」と、参観日後の全体懇談の実施。	<p>◎情報発信について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで以上に、学校や学級での子どもたちの様子をわかりやすく、学校だよりや学級通信で保護者や地域の方に情報を発信していく。 	

1 学校教育目標

- ・力のあるねらいをもって 学び続ける生徒
- ・ゆたかな心をもつ 明るくて 思いやりのある生徒
- ・強い意志をもつ 深く考えて 実行する生徒
- ・心身ともに健康な 粘り強くて たくましい生徒

2 重点目標

◎ つながり合い 高め合い 主体的に取り組む 思いやりのある生徒

3 学校経営の基本方針及び取組の重点

<p>(1) 教育課程推進の基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 確かな学力の育成を目指す学習指導の充実 ② 豊かな人間性の育成を目指す道徳の授業改善とキャリア教育・英語教育の充実 ③ 健やかな体の育成を目指す健康安全指導と体育的な取組の充実 ④ 地域や小・高との連携と協力の推進 	<p>(2) 指導の基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 学校としての組織的な対応の徹底 ② 保護者との連携の推進 ③ 基本的な学習・生活習慣づくりの徹底 ④ 各学年部会による複数指導の徹底 ⑤ 緊密な連絡・相談・確認による職員室の連携
---	--

4 評価方法

- (1) 自己評価
・学校評価委員会は、生徒・保護者・教職員アンケートを実施し集計して、結果を分析する。
- (2) 評価基準(アンケートの集計結果から)
A (良い)は集計平均 > 3.2 B (概ね良い)は 3.2 ≥ 集計平均 ≥ 2.5 C (不十分)は 2.5 > 集計平均
- (3) 学校関係者評価
・自己評価の前期と後期を合わせた数値の平均を評価の基本とし、その妥当性を検討し、意見を集約する。

指標 (評価基準)	アンケート項目	自己評価	関係者評価	自己分析と改善策	学校関係者評価委員からの意見・要望
1 確かな学力の育成	<p>①授業内容の理解</p> <p>②家庭学習の定着</p> <p>③読書の習慣化</p> <p>④考えをまとめて、わかりやすく伝える力</p> <p>⑤個に応じた指導(支援員・少人数指導・TT指導・各種学習会・個別指導等)</p>	<p>前期 2.8</p> <p>B</p> <p>後期 3.0</p> <p>B</p>	B	<p>(1)個に応じた指導が高く評価 ◇少人数指導、TT指導、学習会等の内容改善を図りながら継続 ◇特別な支援を必要とする生徒への授業での配慮や補習の充実</p> <p>(2)家庭学習の習慣、思考力等の定着への評価が低い。 ◆校内研修において「主体的・対話的で深い学び」の解明に向けた授業改善 ◆学校としての組織的な家庭学習の取組を試みる。</p>	<p>・いろいろと創意工夫して取組んでいる様子が伝わってくる。</p> <p>・家庭学習の充実に向けて一層の取組を続けてほしい。</p>
取組の重点～学習指導の充実を図る					

指標 (評価基準)	アンケート項目	自己評価	関係者評価	自己分析と改善策	学校関係者評価委員からの意見・要望
2 豊かな人間性の育成	<p>①気持ちの良い挨拶や言葉遣いが身についている</p> <p>②善悪の判断と思いやりが身につけている</p> <p>③いじめの防止、早期発見解決に学校は取り組んでいる</p> <p>④進路や職業について考えている</p> <p>⑤英語に関心をもち意欲的に取り組んでいる</p>	<p>前期 3.0</p> <p>B</p> <p>後期 3.3</p> <p>A</p>	A	<p>(1)「挨拶・言葉遣い」「善悪の判断・思いやり」の評価は高い ◇今後も道徳の授業を柱に教育活動全体を通して豊かな人間性の育成を図る。</p> <p>(2)いじめの対応について評価が高い ◇今後も組織的な生徒指導体制を継続する。</p> <p>(3)進路に対する考えが十分でない ◆3年間を見通した進路指導の系統化</p> <p>(4)英語への関心意欲が十分でない ◆小・高との連携を推進し「乗り入れ授業」を定着させ、教育課程に位置付ける。</p>	<p>・英語の乗り入れ授業など、英語教育の推進について先生や生徒は一定の評価をしているのに対し、保護者の評価が低いのは、保護者が十分に認識していないことが推測されるので、授業の様子を見せるなど、認知度が上がるような工夫も必要である。</p>
取組の重点～道徳の授業改善とキャリア教育・英語教育の充実					

指標 (評価基準)	アンケート項目	自己評価	関係者評価	自己分析と改善策	学校関係者評価委員からの意見・要望	
3 健やかな体の育成	<p>(1)関係機関と連携を図って健康安全指導が進められているか</p> <p>(2)学校行事の充実を図り、体力の向上や健康、安全に対する意識が高まっているか</p>	<p>前期 2.9</p> <p>B</p> <p>後期 3.1</p> <p>B</p>	B	<p>①基本的な生活習慣の定着と健康安全指導の推進</p> <p>②生徒によるスマホ・ゲーム利用の時間やルール厳守の定着</p> <p>③防災学習の充実と実践力の向上</p> <p>④行事、部活動等の異学年集団の取組によるコミュニケーションと所属意識の高まり</p> <p>⑤体育的行事の充実と体力向上、健康増進の取組の推進</p>	<p>(1)体育的行事の充実や部活動等の成果、体力の向上に関する評価が高い。 ◇教科、行事、部活動、生徒会活動等の横断的な取組を通して、一層の集団意識の向上と体力の増進を図る。</p> <p>(2)基本的な生活習慣の定着は概ね良好。 ◇教職員の意識を高め、さらにきめ細かい指導を推進する。</p> <p>(3)スマホ・ゲーム等の適切な利用やルールに関する評価は低い。 ◆外部機関(警察等)との連携による講座の継続と一層の充実を図るとともに、道徳の授業の創意工夫により、生徒の内面に根気よくはたらきかける。</p> <p>(4)防災への取組についての評価が低い。 ◆避難訓練や避難所ゲームの一層の充実を図り、防災教育の推進状況について広く周知する。</p>	<p>・スマホやタブレットの保有はこれからさらに増えていくと考えられるので、正しい使い方を教えることがますます大切になってくる。そのため、小さい頃から町ぐるみで指導を進めるとともに、保護者も子どもへのしつけや態度を改めていかなければならないのではないかと。</p>
取組の重点～健康安全指導の徹底と体育的な取組の充実						

指標 (評価基準)	アンケート項目	自己評価	関係者評価	自己分析と改善策	学校関係者評価委員からの意見・要望	
開かれた学校づくり	<p>◎学校の様子を積極的に発信したり、保護者や地域の意見等を学校改善に反映しているか</p>	<p>前期 3.3</p> <p>A</p> <p>後期 3.4</p> <p>A</p>	A	<p>①学校は、学校評価で保護者の意見等を参考にし、積極的に学校改善を進めている</p> <p>②学校は学校便り等により、学校運営の状況をわかりやすく保護者や地域に伝えている。</p>	<p>(1)学校改善や情報提供などの取組の評価は高い。 ◇年度末反省を生かして、次年度の学校経営計画を充実させる。</p>	<p>・さらに開かれた学校、信頼される学校を目指して、生徒の活動が見える発信を続けてほしい。</p>

5 学校関係者評価の実施日等

- (1)実施期日
令和2年2月19日(水) 18時30分～
- (2)実施場所
蘭越中学校 校長室
- (3)学校関係者評価委員
 学校評議員 小澤 修
 学校評議員 小澤 利夫
 学校評議員 河野 俊明
 学校評議員 東條 和子
 PTA会長 福島 雅史
 校長 廣澤 信弘
 教頭 齋藤 直幸
 <欠席> 学校評議員 屋敷 広美

以上

